

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/



JF
JF香川漁連

高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

ノリ着業検討会開催

香川県海苔養殖研究会(会長 森 朝征)は去る8月26日(金)から9月2日(金)にかけて平成23年度ノリ着業検討会を開催した。

本検討会は、毎年新漁期を迎えるに当たって、ノリ養殖業の安定と品質向上及び経営の合理化を目的に、ノリ養殖指導指針や酸処理剤の取扱要領並びに乾海苔共販対策等を直接生産者に周知するため、関係機関の協力のもと例年各地区で開催している。本年度も県内3地区で開催し、ノリ養殖業者並びに漁業関係者が出席した。



着業検討会の様子

- | | |
|----------|------------------|
| 8月26日(金) | 高松・中西讃地区
漁連会館 |
| 8月29日(月) | 東讃地区
ベッセルおおち |
| 9月2日(金) | 小豆地区
オーキドホテル |

検討会では「平成23年度ノリ養殖指導指針について」、「平成23年度酸処理剤取り扱い要領について」、「平成23年度水温・栄養塩の動向について」の説明が行われた。

本県のノリ養殖業は「ノリ養殖基本方針」並びに「ノリ養殖指導方針」に基づき生産性の向上、経営の安定化を図ってきたが、近年の色落ちや生理障害等が多発し、優良ノリの生産に大きな影響を及ぼしている。会では、食品の安心・安全性が叫ばれている中であり、異物混入等衛生対策、酸処理剤の取り扱いについてはより一層注意する事が確認された。

検討会終了後、小浅商事(株)大阪支店長 水島 康

氏、(株)大森屋福岡工場次長 梶原正洋氏が「乾ノリ消費動向について」、「香川県産乾ノリの評価・改善点について」をテーマにそれぞれ講演があり出席者全員が熱心に聞き入っていた。また、消費需給動向・共販価格等について活発な意見交換が行われた。小豆地区については台風12号の影響により講演は中止となった。



小浅商事(株)大阪支店長 水島氏の講演

決定「香川おさかな大使」

香川県産の水産物をPR活動する「香川おさかな大使」の最終審査会が9月14日(水)漁連会館5階中会議室にて行われた。



甄理さん、中塚さん、濱田さん、弾正原さん

今年で3回目を迎える「香川おさかな大使」は、さぬき海の幸販売促進事業の一環として募集していたもので、おさかな大使には高松市の主婦で短大に通う中塚美樹さん(29才)、宇多津町の大学生の濱田万季子さん(20才)の2名が選ばれた。また審

査員特賞として高松市の団体職員の弾正原枝里さん(25才)、高松市在住の中国からの留学生甄理(しんり)さん(23才)が選ばれた。任期は平成23年10月1日～平成24年3月31日まで。

「香川おさかな大使」には県内から8名の応募があり、服部県漁連会長ら5人の審査員が面接などで審査を行った。面接ではハマチの売り込み方とか、魚に対する思いなどの質問をし、積極性や豊かな表現力等を持つ人が選ばれた。

栄養士の資格取得を目指して短大に通う中塚さんは「魚の栄養や調理方法などを幅広くしっかり伝えていきたい。」濱田さんは「香川の美味しい魚を、多くの人に知ってもらえるように努力したい。」と抱負を語った。

また、同日午後から開催された、さぬき海の幸販売促進協議会第2回会議では、平成23年度事業計画等について協議され、平成19・20年度の「ハマチ養殖80周年記念事業」、平成21・22年度の「さぬき海の幸販売促進事業」によって培ったノウハウを活用し、昨年度に引き続いて「さぬき海の幸販売促進事業」に取り組み、ハマチ、ノリ、イリコをはじめ、ナシフグ、タコ等の県内水産物の販売促進、販路拡大を積極的に行うこととなった。

事務局体制では昨年度同様で、「総務・食育グループ」、「ハマチグループ(フグ・タイ・タコなど含む)」、「ノリ・イリコグループ」の3グループに振り分けられた。

本年度のグループ別活動では、「総務・食育グループ」はPRイベント事業等と連携してハマチ、ノリ、イリコ等県内水産物のPR事業、「ハマチグループ」ではハマチブランド化事業に加え、「讃岐でんぶく」、「さぬき蛸」、「マダイ」等のブランド化事業、「ノリ・イリコグループ」では香川ノリPR事業、「伊吹いりこ」の地域ブランドのPR活動・商品開発事業等が計画されている。



挨拶する服部会長

幼稚園児の稚魚の放流

9月12日(月)観音寺市豊浜町一の宮海岸にて、観音寺市立豊浜幼稚園の年長さん52人を招きタケノコメバル(全長8cm前後)の稚魚500匹を放流した。



放流する幼稚園児

これは9月3日(土)に台風12号の接近により中止となった第42回放魚祭の行事の一つで延期となっていたもので、浅野三豊漁連会長の挨拶の後、園児達はバケツに入った稚魚を一斉に海に放った。波打ち際には園児の弾ける声が響き「お魚さん、大きくなってね。」と口ぐちに叫び喜んでいた。

来年度第43回放魚祭は小豆地区にて開催予定。

讃岐でんぶくを香川の新名物に

瀬戸内海でとれるフグ「讃岐でんぶく」をPRし、香川県の新名物にすべく県漁連と麒麟ビール香川支社とがタッグを組み展開するもので、9月20日(火)喜代美山荘花樹海にて企画の概要が報告された。

麒麟ビールでは11月30日まで、ニッポンの元気を応援しますということで、全国47都道府県のうまいものいずれか一品と麒麟のビールが当たる「今こそ!選ぼうニッポンのうまい!2011」プレゼントキャンペーンを実施している。このキャンペーンは平成17年から始まっており、香川県ではこれまでに水産物としてシタビラメ、マナガツオが選ばれている。

「讃岐でんぶく」は瀬戸内海や有明海でとれる「ナシフグ」のことで、トラフグに似た食感と味わいを持っているのが特徴。香川県など4県でのみ漁獲が許可されている。県内では春から秋にかけて約150tが漁獲され、価格はトラフグの3～4割と安価で、刺身、から揚げ、鍋物に使用されている。



讚岐でんぶく

県内では、10月以降に、スーパーや百貨店にて家庭用の料理方法を紹介する店頭イベントを開始され、11月以降に、ホテルや旅館の宿泊施設にて「讚岐でんぶく」を使った料理を提供する宿泊プランを設けてもらうほか、飲食店では「讚岐でんぶく」を使った料理を提供してもらい、店にポスターを貼ってもらう等のキャンペーンが開始される。キンビール香川支社でも「地元の食材と合わせて、ビールも飲んでほしい」とビールの売上増につなげたい考えだ。

会場では「讚岐でんぶく」の試食もあり、刺身やから揚げ等の料理が参加者にふるまわれていた。

記者会見では、浜田恵造香川県知事、原連香川県漁連代表理事専務、キンビール香川支社石田明文支社長らが出席。浜田知事は「おいしい県産品をより多くの人に食べてもらいたい」、キンビール香川支社の石田支所長は「多くの人に讚岐でんぶくを味わってもらい、香川の新たな名物にしたい」と話していた。また、原連香川県漁連代表理事専務は「讚岐でんぶくは幅広くいろいろな形で調理出来るので、ぜひ食べていただきたい。そして多くの人においしさを味わってほしい」と語っていた。



挨拶する原専務

「伊吹イリコ」地域ブランド登録へ

平成22年2月25日に伊吹漁協が特許庁に登録申請していた「伊吹いりこ」の地域団体商標について、平成23年9月2日付で特許庁から登録査定の通知があった。

10月上旬には正式登録され商標登録証が送付される予定。

今回の登録により香川県の地域団体商標は「庵治石」、「ひけた鯛」に続いて3件目となる。

※登録査定とは特許庁での審査が完了したことをいう。



「伊吹イリコ」の定義

伊吹島の沖合で漁獲された片ロイワシを用い、伊吹島で加工された煮干類で、伊吹漁業協同組合が取り扱うものをいう。

サイズによって、大羽、中羽、小羽という銘柄がある。「伊吹イリコ」はこれを総称した名称。

※地域団体商標（地域ブランド）について

地域に存在する自然、歴史・文化、食、観光地、特産品などの地域資源の「付加価値」を高め、他の地域との差別化を図ることにより、市場において情報発信や競争力の面で比較的優位に立つ狙いがある。

主な行事予定(10/1~10/31)

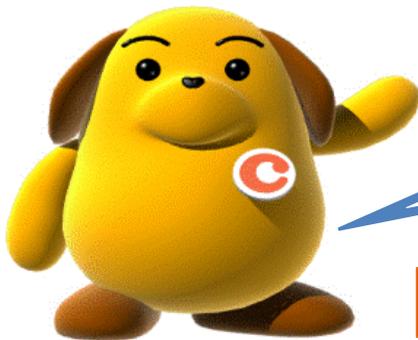
- 10月13日(木) 生命共済業務研修会
- 14日(金) 海苔関係組合長・海苔研委員合同会議
- 19日(水) サントリーキックオフイベント
- 23日(日) たかまつ市場フェスタ
- 27日(木) 漁業用燃油に係る課税免税恒久化を訴える漁業者決起大会
- 29日(土) 第9回 中讃秋のとれたてぴちぴち市



こんにちは、坂出税関です

★「薬物及び銃器取締強化期間」に伴うご協力のお願い

神戸税関坂出税関支署では、平成23年10月1日(土)から10月31日(月)の間、関係取締機関と連携して、水際の実地取締強化に努めます。日常業務等において、「何かおかしいな?」と思う事例がありましたら、どんな小さな情報でも、坂出税関支署、又は最寄りの税関出張所、若しくは24時間対応の密輸フリーダイヤル(0120-461-961)まで通報していただきますようご協力をお願いします。カ月間を「薬物及び銃器取締強化期間」として、社会悪物品の摘発及び防圧のため、関係取締機関との連携をより一層密にし、水際の実地取締強化に努めておりますので、本取組みについて皆様方のご理解とご協力をお願いします。



密輸情報の提供に

「許しません白い粉 通しません黒い武器」

★近年の神戸税関管内における摘発状況



航空機旅客から覚せい剤2, 204gを摘発!

平成23年9月12日

神戸税関広島税関支署広島空港出張所



船舶乗組員から覚せい剤1, 280gを摘発

平成20年3月6日

神戸税関坂出税関支署高松出張所

税関ホームページ <http://www.customs.go.jp>

密輸フリーダイヤル 0120-461-961 (24時間365日受付)

【坂出税関支署】 0877-44-9211 坂出市入船町 1-6-10

【高松出張所】 087-851-2874 高松市朝日町 4-3-8

【丸亀出張所】 0877-23-7696 丸亀市蓬萊町 32-1

【詫間出張所】 0875-83-3071 三豊市詫間町詫間 1328-9